

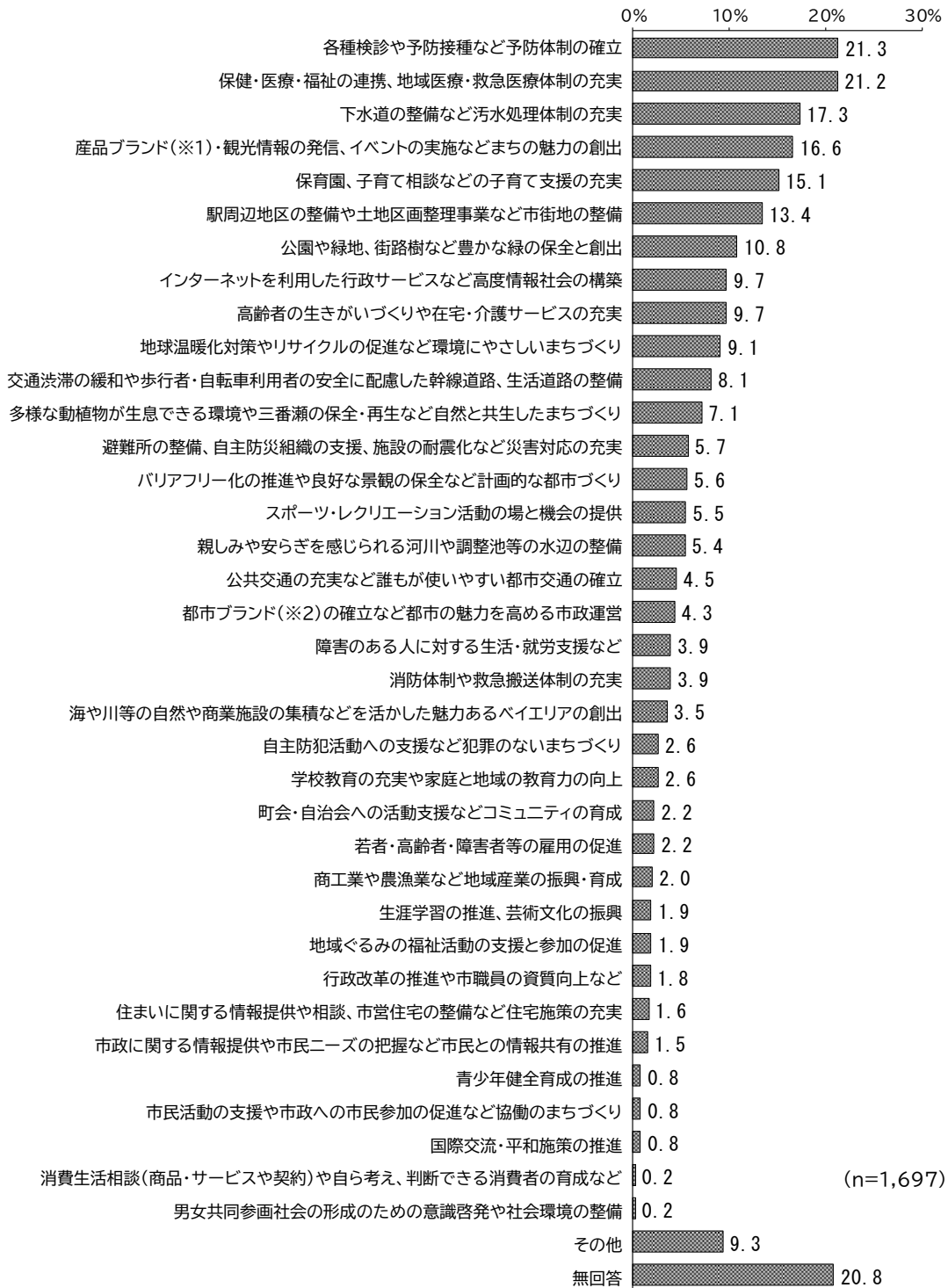
6. 「市の施策」について

(1) ここ数年でよくなったもの

よくなったものは、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」が最も高く2割超

【問35】次ページの「表 市の施策（37項目）」について、どのように感じていますか。

① ここ数年でよくなったもの（5つまで選んで番号を記入してください）



(※1)産品ブランドとは、農水畜産品をはじめとした「船橋発」の産品のことです。

(※2)都市ブランドとは、市民や市外の人々が共通に抱く「〇〇市らしさ」、良好なイメージのことです。

図Ⅲ－121 ここ数年でよくなったもの

37 項目の市の施策について、「ここ数年でよくなったもの」は何か聞いたところ、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」が 21.3%で最も高く、次いで「保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」(21.2%)、「下水道の整備など汚水処理体制の充実」(17.3%)、「産品ブランド・観光情報の発信、イベントの実施などまちの魅力の創出」(16.6%)、「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」(15.1%)、「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」(13.4%) の順で上位 6 項目が挙がっている。

表Ⅲ－３２ 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
駅前の飲食店の客引きの取り締まり	2
広報紙の内容や写真がよくなった	2
コロナ情報を詳しく記載、情報発信していること	2
コロナ対策、コロナ時の学校の対応（インターネット活用など）	2
子どもの医療費の支援	1
ゴミ収集車の音が静かになった	1
小学校、中学校にエアコンが導入された	1
離婚後の養育費請求等一人親世帯への支援の取組	1
図書館（中央図書館利用）の利用（対応）がしやすくなった	1
公民館がリニューアルした	1
木戸川遊歩道、大穴近隣公園がよくなった	1
駐輪場が増えた	1
自宅前の道路にライトが増え、夜歩くときに安心できるようになった	1
船橋駅のシャポー、西船橋駅内などきれいになって利用しやすくなった	1
フェイス内の市役所の方々がとても親切で安心感が増した	1
バスが増えたのは嬉しかった	1
スーパーが増えて買い物が便利になった	1
よくなったものは特にない・実感できない	45
わからない	85
（記載なし）	10
合 計	161

【性別／年齢別】（上位8項目）

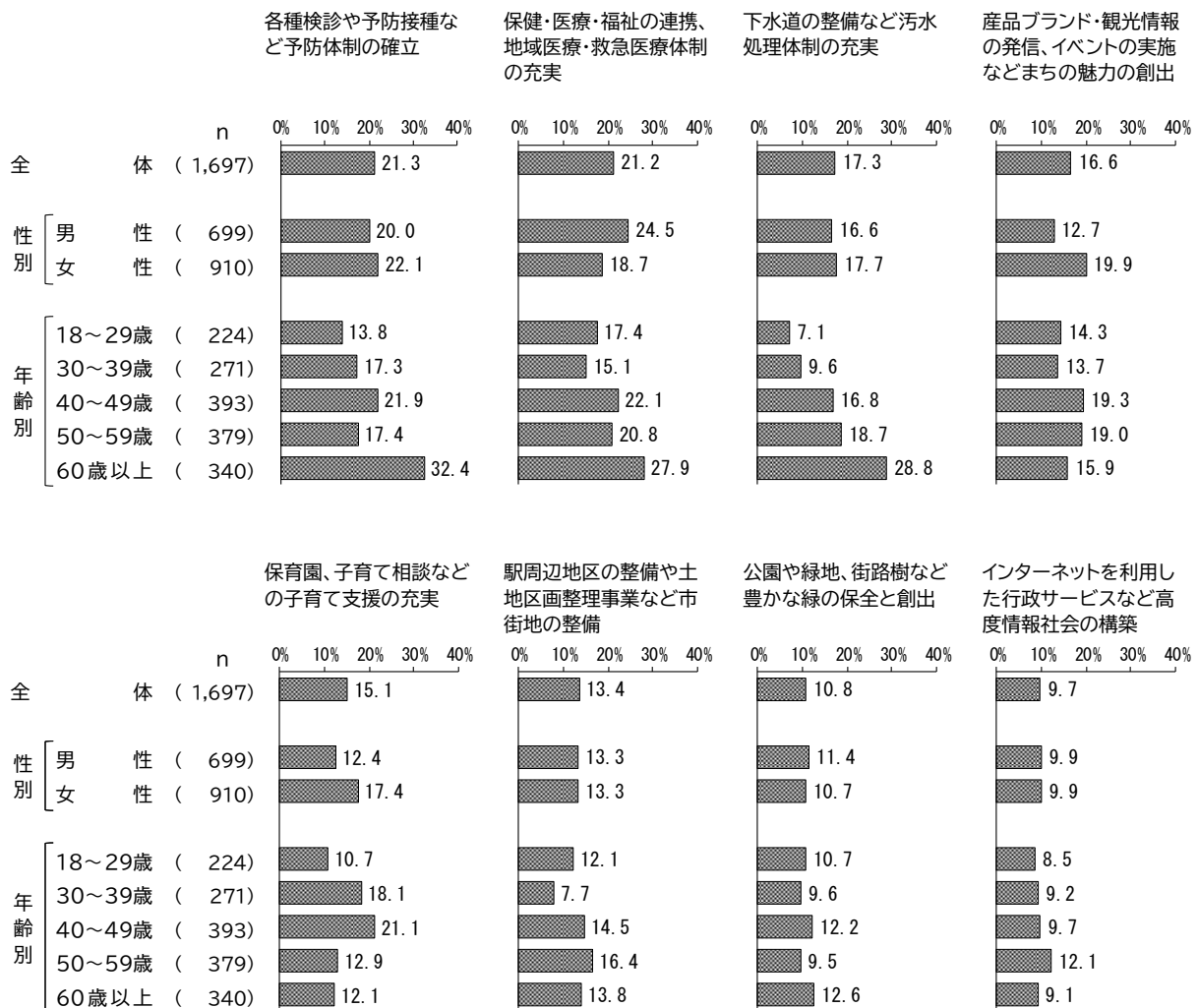
性別で比較すると、「産品ブランド・観光情報の発信、イベントの実施などまちの魅力の創出」、「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」では、女性（19.9%、17.4%）の方が男性（12.7%、12.4%）の割合より各々7.2、5.0ポイント高くなっている。

「保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」では、男性（24.5%）が女性（18.7%）より5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」は、最も高い60歳以上（32.4%）と最も低い18～29歳（13.8%）の差が18.6ポイントとなっている。

「下水道の整備など汚水処理体制の充実」では、年齢が上がるに従い割合が高くなっており、最も高い60歳以上（28.8%）と最も低い18～29歳（7.1%）との差は21.7ポイントとなっている。

「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」では、40～49歳（21.1%）、30～39歳（18.1%）の割合が他の年齢に比べ高くなっている。



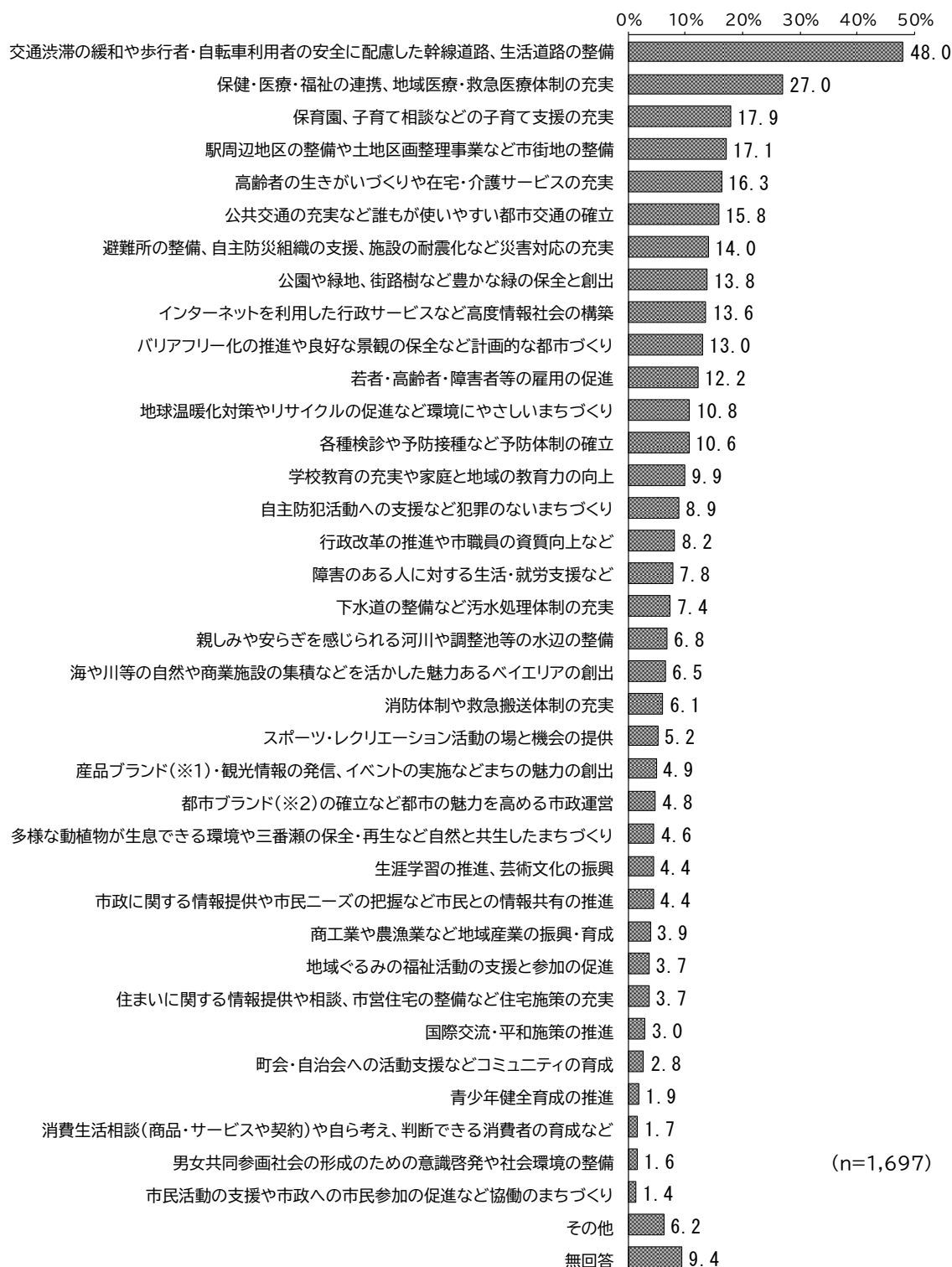
図Ⅲ－122 ここ数年でよくなったもの（性別／年齢別）（上位8項目）

(2) 力を入れるべきもの

力を入れるべきものは、「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が5割弱

【問35】次ページの「表 市の施策（37項目）」について、どのように感じていますか。

② 力を入れるべきもの（5つまで選んで番号を記入してください）



(※1)産品ブランドとは、農水畜産品をはじめとした「船橋発」の産品のことです。

(※2)都市ブランドとは、市民や市外の人々が共通に抱く「〇〇市らしさ」、良好なイメージのものです。

図Ⅲ-123 力を入れるべきもの

37 項目の市の施策について、「力を入れるべきもの」は何か聞いたところ、「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が48.0%で最も高く5割弱となっている。次いで「保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」(27.0%)、「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」(17.9%)、「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」(17.1%)、「高齢者の生きがいがづくりや在宅・介護サービスの充実」(16.3%)、「公共交通の充実など誰もが使いやすい都市交通の確立」(15.8%)の順で上位6項目が挙げられている。

表Ⅲ－33 「その他」の内訳

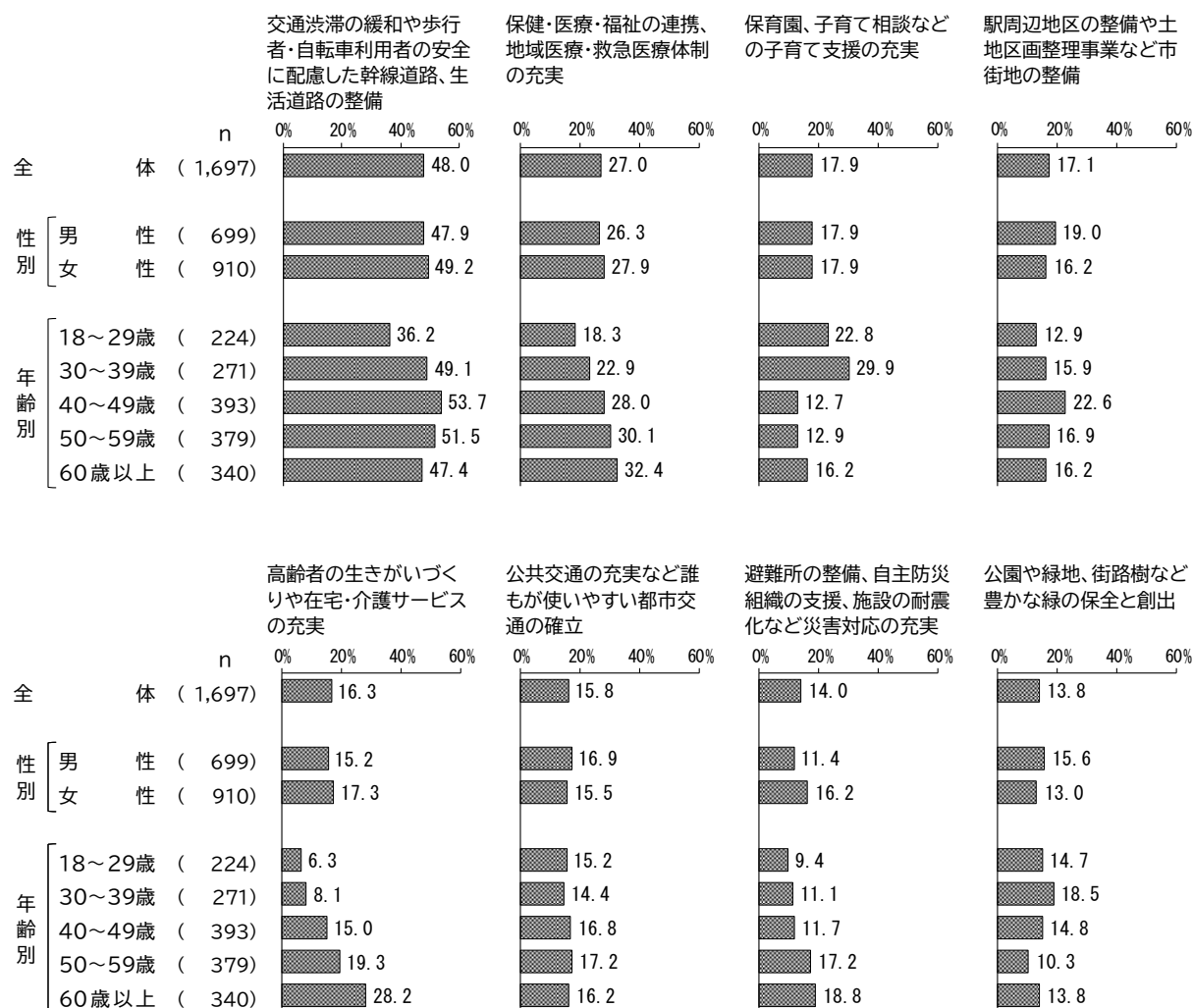
「その他」の内容	件数
都市計画・まちづくりに関すること	27
支援・助成（子ども、学生）に関すること	6
公園、里山に関すること	6
ごみ（回収数など）に関すること	5
学校（教育内容、施設、給食など）に関すること	5
広報（連絡先、ホームページなど）に関すること	5
上下水道、雨水に関すること	5
支援・助成（コロナ）に関すること	4
自転車（駐輪場、マナー、取締りなど）に関すること	3
行政サービス（窓口）に関すること	3
公共交通機関（鉄道運賃、コミュニティバスなど）に関すること	3
災害対策に関すること	3
公衆衛生（猫や鳥の糞、虫など）に関すること	2
税・財政に関すること	2
治安維持（街灯、防犯カメラ設置など）に関すること	2
病院・医療体制に関すること	2
その他	14
特にない	4
わからない	19
（記載なし）	5
合 計	125

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「避難所の整備、自主防災組織の支援、施設の耐震化など災害対応の充実」では、女性（16.2%）の方が男性（11.4%）の割合より4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」、「高齢者の生きがいがづくりや在宅・介護サービスの充実」の割合が、年齢が上がるに従い割合が高くなっており、最も高い60歳以上（32.4%、28.2%）と最も低い18～29歳（18.3%、6.3%）の差は、各々14.1、21.9ポイントとなっている。

「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」では、30～39歳（29.9%）、18～29歳（22.8%）の割合が他の年齢に比べ高い。



図Ⅲ－124 力を入れるべきもの（性別／年齢別）（上位8項目）

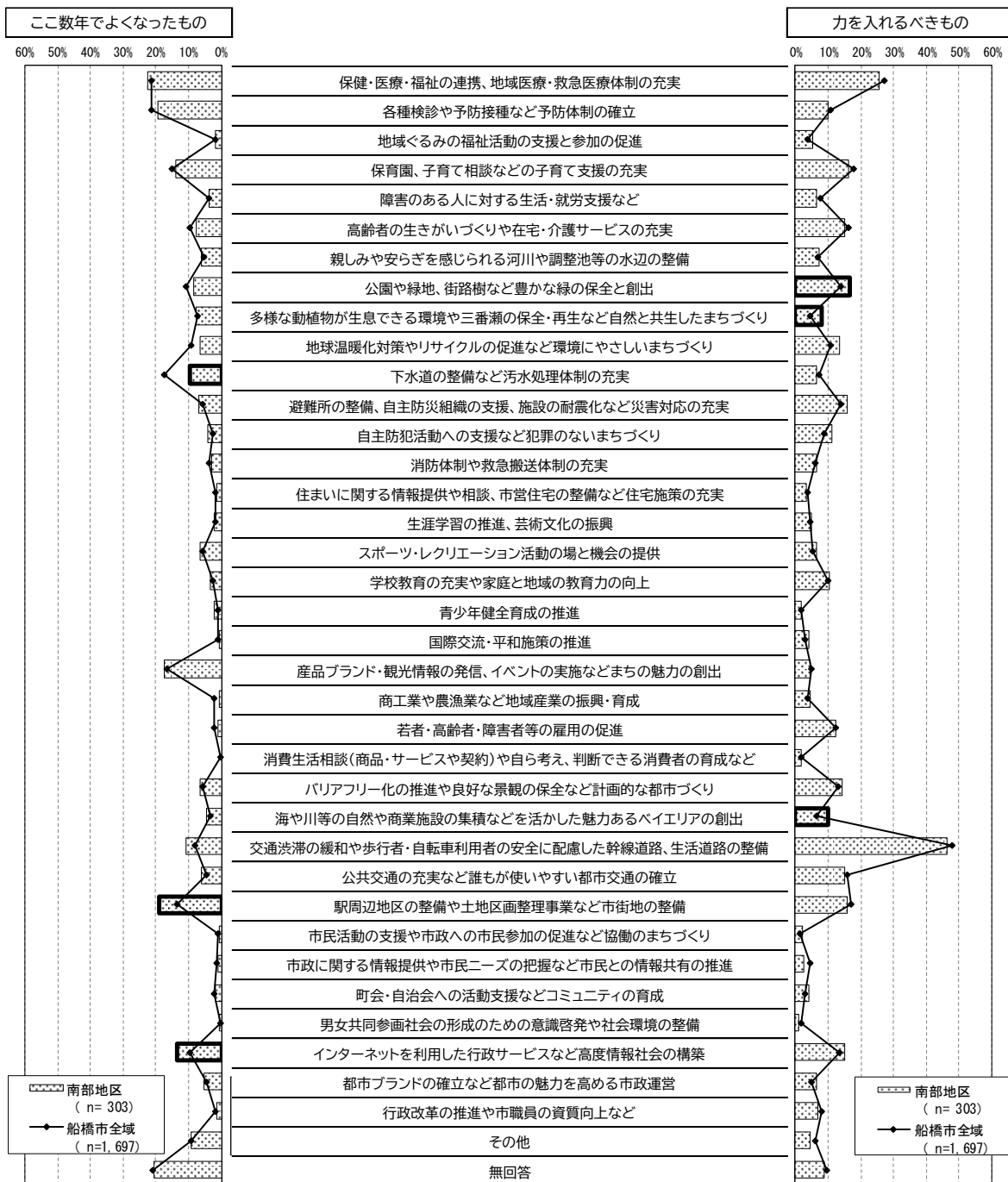
(3) 「市の施策」地区別分析

船橋市全域と比較し、3%以上の開きがあり、差が大きい上位3つまでの施策を記載・分析する。

【南部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」、「インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築」が高く、「下水道の整備など汚水処理体制の充実」が低くなっている。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、「海や川等の自然や商業施設の集積などを活かした魅力あるベイエリアの創出」、「多様な動植物が生息できる環境や三番瀬の保全・再生など自然と共生したまちづくり」、「公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出」が高くなっているが、特に低くなっている施策はない。



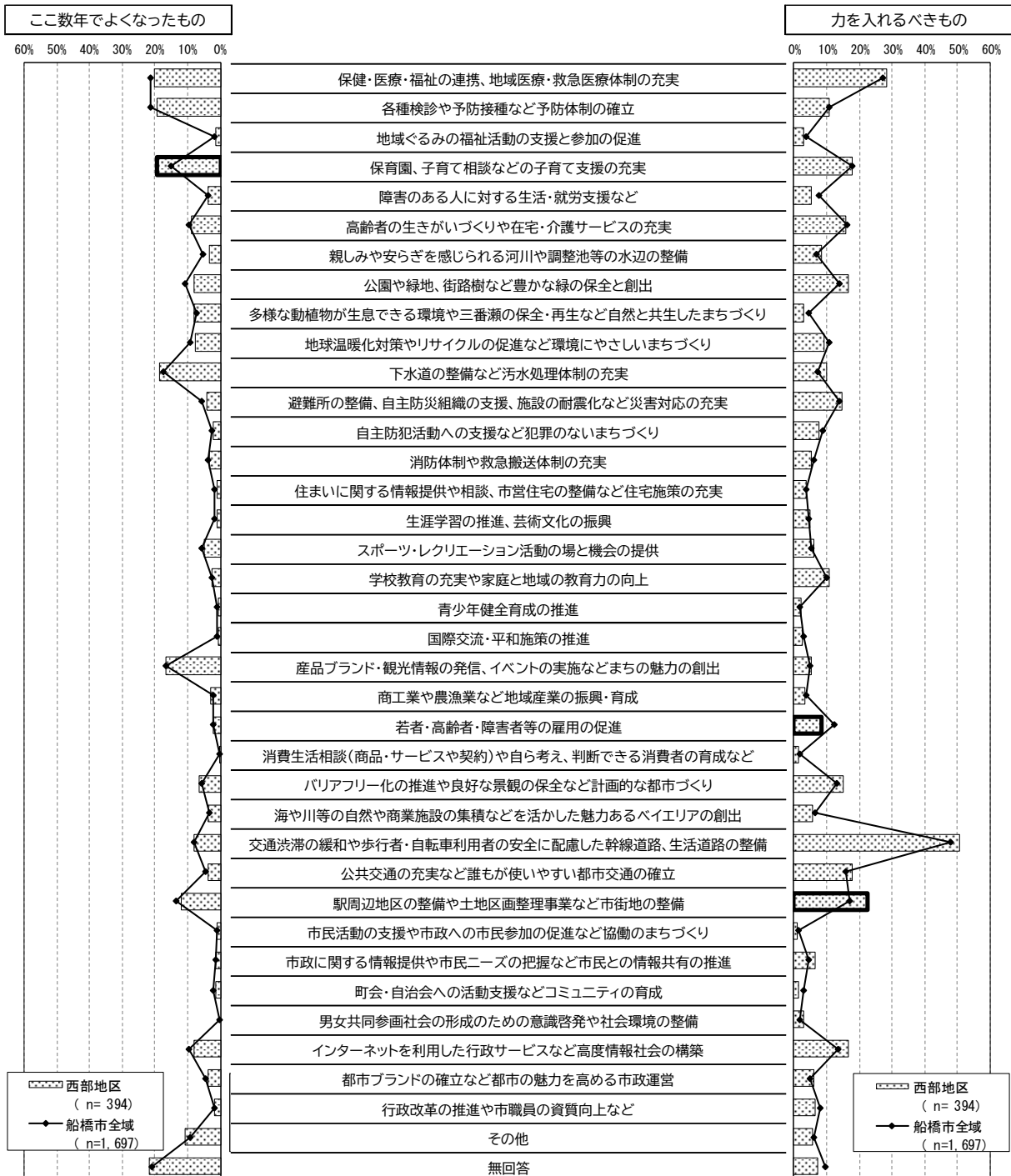
※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-125 「市の施策」地区別分析 (南部地区)

【西部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」が高くなっているが、特に低くなっている施策はない。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」が高く、「若者・高齢者・障害者等の雇用の促進」が低くなっている。



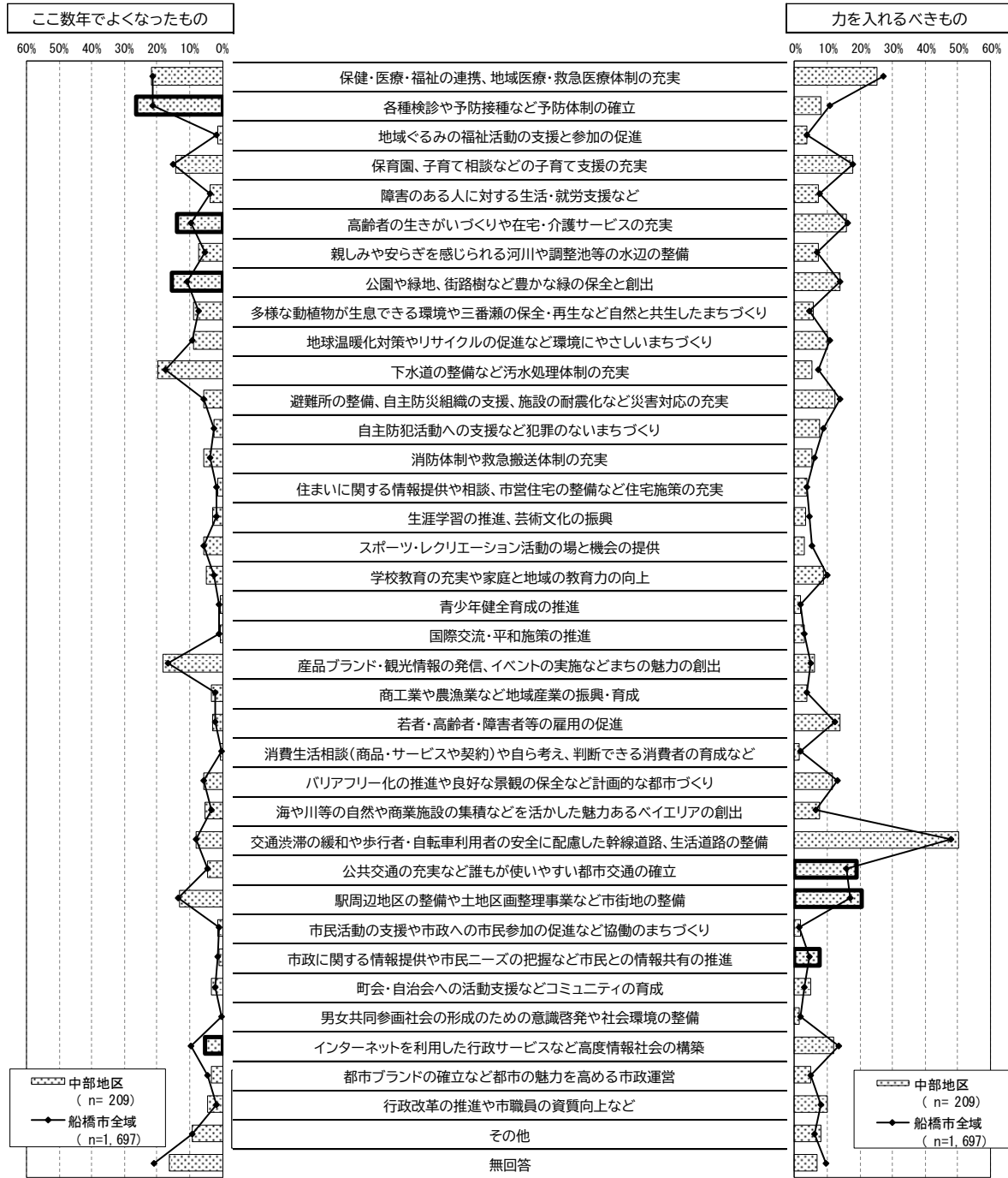
※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-126 「市の施策」地区別分析(西部地区)

【中部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」、「公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出」、「高齢者の生きがいがづくりや在宅・介護サービスの充実」が高く、「インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築」が低くなっている。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」、「公共交通の充実など誰もが使いやすい都市交通の確立」、「市政に関する情報提供や市民ニーズの把握など市民との情報共有の推進」が高くなっているが、特に低くなっている施策はない。



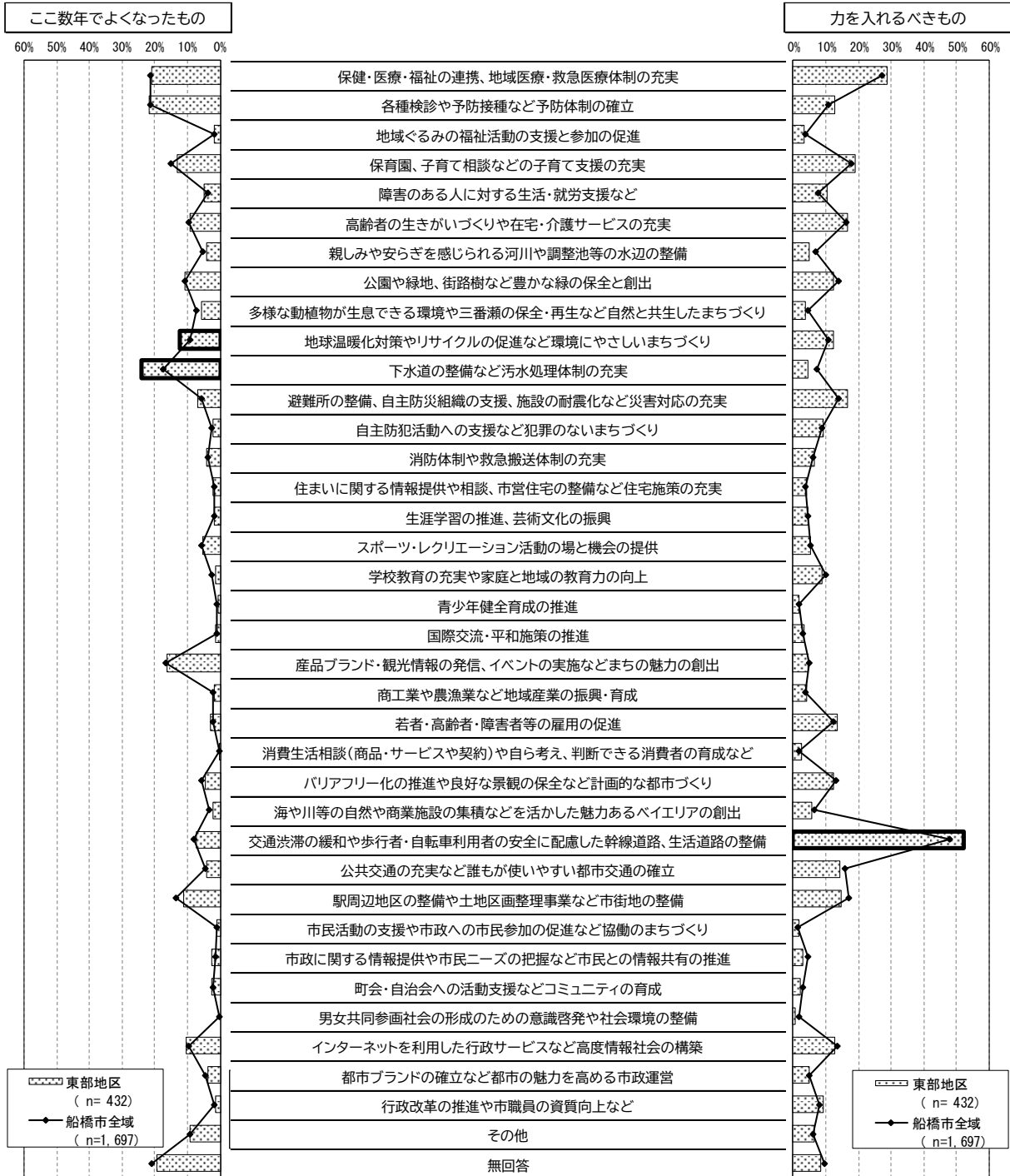
※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-127 「市の施策」地区別分析(中部地区)

【東部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「下水道の整備など污水处理体制の充実」、「地球温暖化対策やリサイクルの促進など環境にやさしいまちづくり」が高くなっているが、特に低くなっている施策はない。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が高くなっているが、特に低くなっている施策はない。



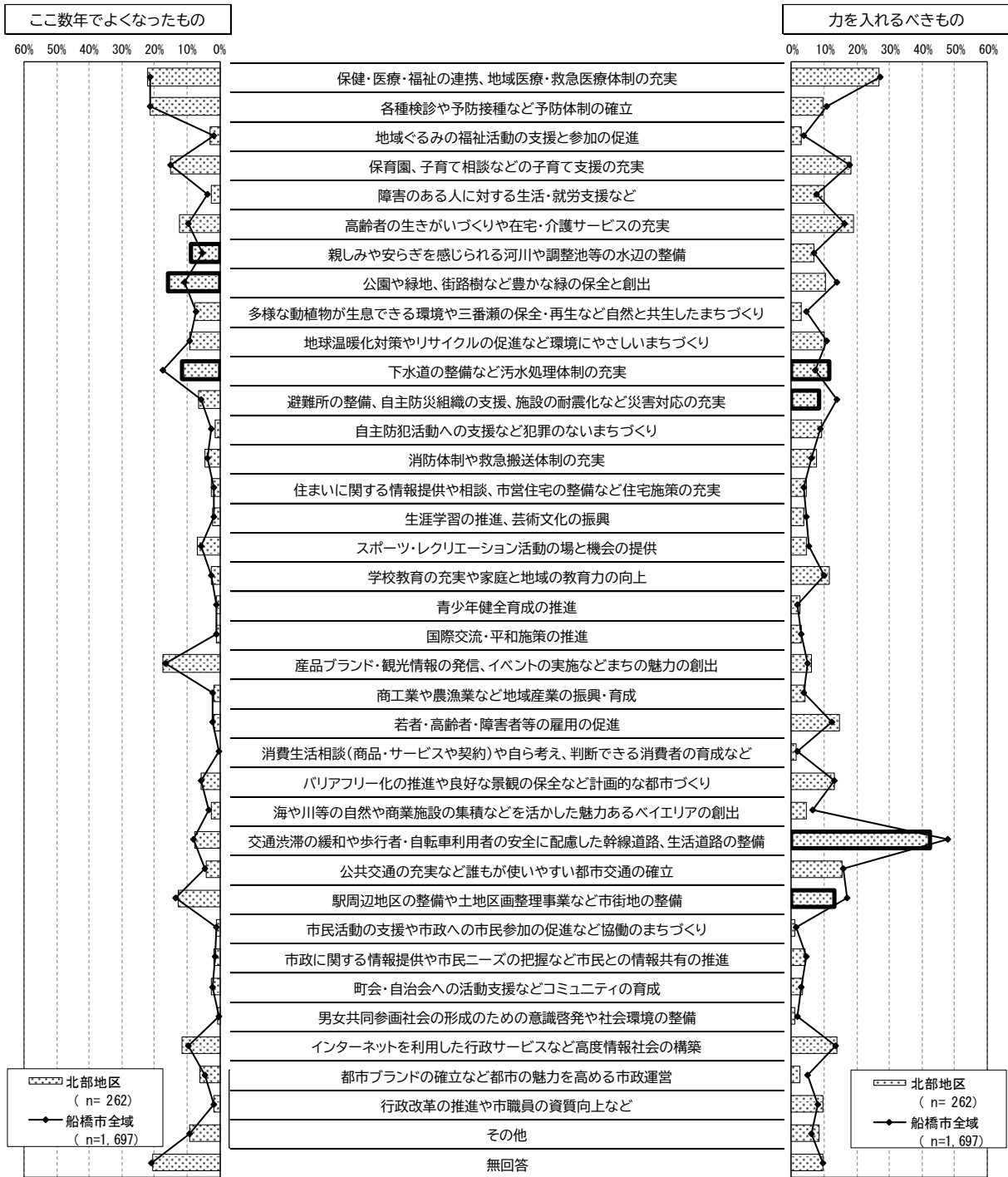
※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-128 「市の施策」地区別分析(東部地区)

【北部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出」、「親しみや安らぎを感じられる河川や調整池等の水辺の整備」が高く、「下水道の整備など汚水処理体制の充実」が低くなっている。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、「下水道の整備など汚水処理体制の充実」が高く、「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」、「避難所の整備、自主防災組織の支援、施設の耐震化など災害対応の充実」、「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」などが低くなっている。



※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-129 「市の施策」地区別分析(北部地区)

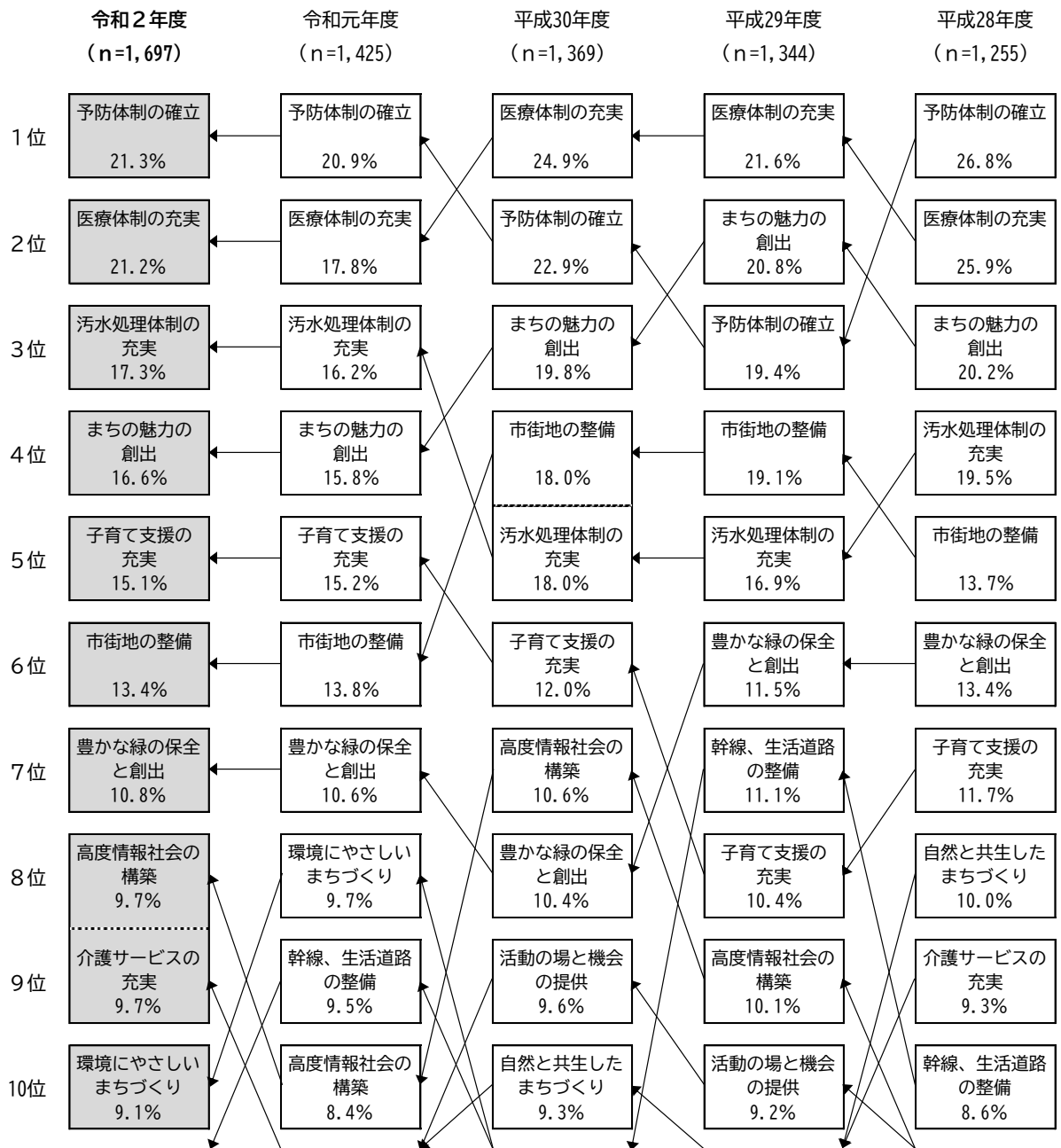
(4) 「市の施策」概観

ここ数年でよくなったものとして、「予防体制の確立」が1位、「医療体制の充実」が2位となり、「医療、健康」に対する施策を評価する声大きい。1位から7位までは令和元年度と変わらない

市の施策において「ここ数年でよくなったもの」の上位10項目を時系列で比較すると、令和元年度と順位の入替わりもなく継続して「【予防体制の確立】各種検診や予防接種など予防体制の確立」が1位、「【医療体制の充実】保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」が2位となっており、「医療、健康」に対する評価が続いている。

3～7位までも令和元年度から順位の入替わりはなく、3位に「【汚水処理体制の充実】下水道の整備など汚水処理体制の充実」、4位に「【まちの魅力の創出】産品ブランド・観光情報の発信、イベントの実施などまちの魅力の創出」、5位には「【子育て支援の充実】保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」が引き続き挙がっている。

令和元年度の11位以下から上位10項目に入ってきた施策としては、9位の「【介護サービスの充実】高齢者の生きがいづくりや在宅・介護サービスの充実」があり、一方、令和2年度に11位以下に順位を下げた施策には「【幹線、生活道路の整備】交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」がある。



※令和2年度の8位「高度情報社会の構築」と9位「介護サービスの充実」の％は同じだが、回答者数は8位「高度情報社会の構築」が165人、9位「介護サービスの充実」が164人と、1人の差があるため順位に差がある

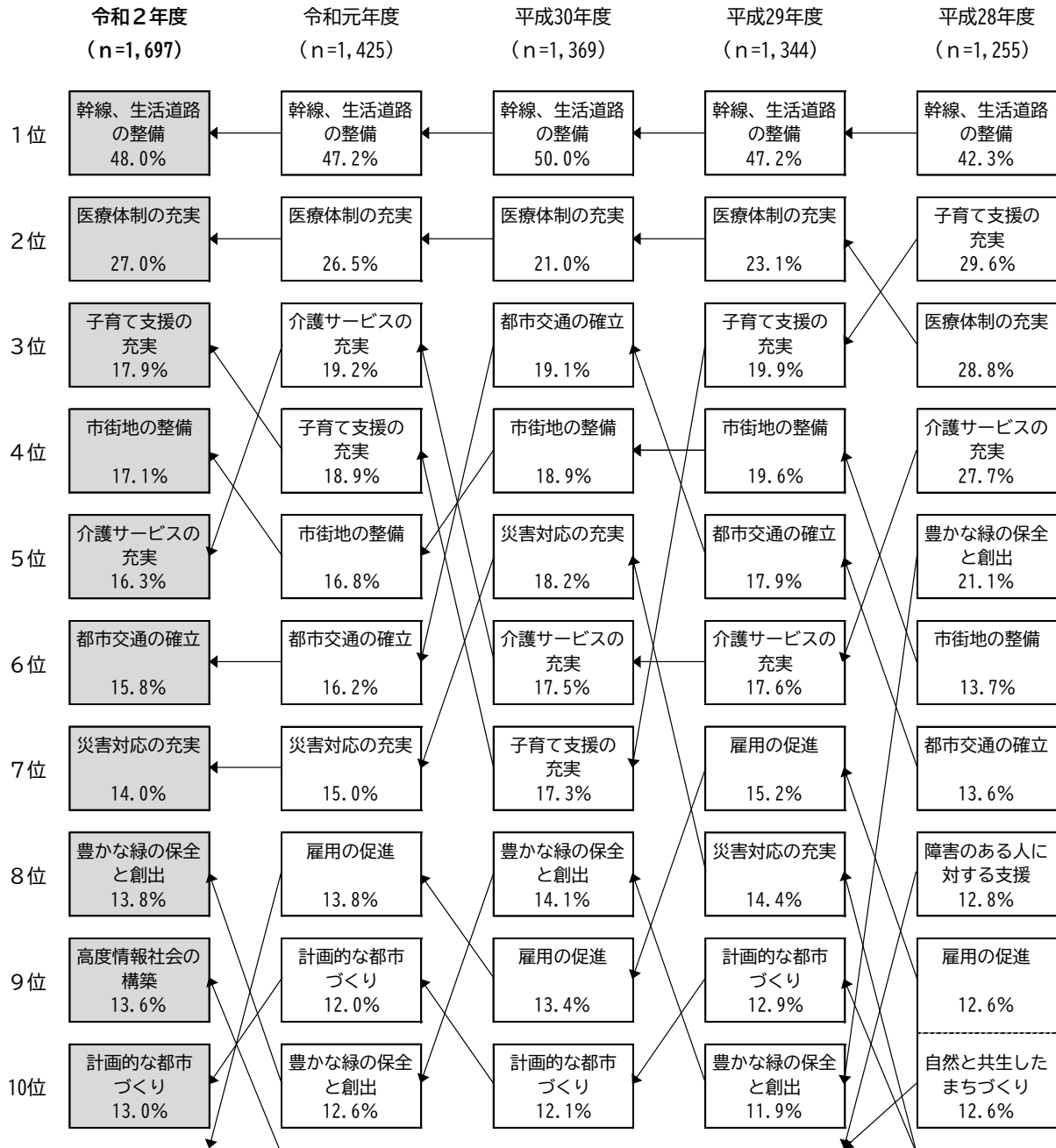
図Ⅲ－130 ここ数年でよくなったもの（時系列比較）（上位10項目）

力を入れるべきものとして、「幹線、生活道路の整備」が9年連続で1位、「医療体制の充実」が4年連続で2位、3位には順位を上げた「子育て支援の充実」が挙げられている

市の施策において「力を入れるべきもの」の上位10項目を時系列で比較すると、「【幹線、生活道路の整備】交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が平成24年度から9年連続で1位、「【医療体制の充実】保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」が平成29年度から4年連続で2位となっている。

3位には令和元年度の4位から順位を上げた「【子育て支援の充実】保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」が入り、4位には令和元年度の5位から順位を上げた「【市街地の整備】駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」が入っている。5位には「【介護サービスの充実】高齢者の生きがづくりや在宅・介護サービスの充実」が入っているが、令和元年度の3位から順位を下げている。

令和元年度の11位以下から上位10項目に入ってきた施策としては、9位の「【高度情報社会の構築】インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築」があり、一方、令和2年度に11位以下に順位を下げた施策には「【雇用の促進】若者・高齢者・障害者等の雇用の促進」がある。



図Ⅲ-131 力を入れるべきもの（時系列比較）（上位10項目）